

日本物理学会領域 2 役員会議 議事録案

日時: 2021 年 9 月 20 日(月) 18:00-19:30

Zoom オンライン開催

司会: 領域 2 代表 稲垣、千徳、金子、佐々木、高橋、小林、佐野、沼田、本島、相羽、  
福田、藪内、四竈、書記: 山田

事前配布資料: 領域 2 役員会議-オンライン 20210920\_v3.pptx

報告・議論事項

- 1) 2021 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2022 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦
- 3) 第 76 回(2021 年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 第 77 回(2022)年年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 領域 2 での確認事項と議題
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2021 年 10 月からの役員体制・役割分担

下記体制を運営会議で承認する。

領域代表 稲垣 滋 (九州大学)

領域副代表 千徳 靖彦 (大阪大学)

領域前代表 金子 俊郎 (東北大学)

運営委員 (小林、佐野、沼田、本島、相羽、福田)、役員 (藪内、四竈、斎藤)

役員会議・運営会議の設定等は相羽・福田、物理学会との連絡責任者は福田。

2022 年 10 月からの次期役員の候補 佐々木 真 (日大)、三瓶 明希夫 (京都工繊大)

年内まで立候補待ち (領域代表まで連絡)、年明けから最終年度の役員が推薦

- 2) 2022 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦

2022 年 4 月からの役員体制を提案。10/25 までに推薦書提出、11 月承認予定

次期領域代表 千徳 靖彦 (大阪大学)

次期領域副代表 藤堂 泰 (核融合科学研究所)

3) 第76回(2021年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告

38名の応募者から、以下5名を選出。

- 浅野 将唯 (阪大レーザー研)  
「マルチピクセルフォトンカウンター (MPPC) を用いた高感度・高速応答中性子計測器の開発」
- 川崎 昂輝 (阪大レーザー研)  
「レーザー核融合の衝撃波点火方式における高速電子の衝撃波圧力に及ぼす影響の評価」
- 森下 侑哉 (京大院工)  
「データ同化を用いた LHD プラズマにおける輸送係数の評価」
- 横山 達也 (東大新領域)  
「データ駆動アプローチとシミュレーションを合わせた放射崩壊前駆現象の考察」
- 米田 奈生 (京大院工)  
「QUEST における水素分子 d3P 準位回転温度を利用したタングステン表面温度計測」

4) 米沢富美子記念賞の募集と審査について

最終学位取得から15年以内に緩和(修士・博士の学生も応募可)

領域2から、2名を上限として授賞候補者を推薦することができる。

領域2の推薦締め切り: 2021年11月5日(金)

提出先: 領域副代表 千徳

積極的に候補者にお声がけし、立候補を促していく。

昨年度は領域2から1名を推薦。

5) 第77回(2022年)年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案

企画講演 (0件提案)

招待講演 (1件提案)

小林 達哉 (核融合科学研究所)

若手奨励賞受賞記念講演 (最大2件)

シンポジウム (3件提案)

「プラズマの位相空間ダイナミクスとエネルギー移送」(説明: 藤堂)

「プラズマサイエンスの新展開」(説明：坂本)

「多粒子種(多元)プラズマにおける創発的機能に関する研究の新展開(仮)」

運営会議で説明し、承認を受ける。

企画セッション 募集中 他領域との合同も可

2021年秋季大会より「トリガーを捉えるメタステート科学」(発表17件)

6) 領域委員会報告

オンライン開催の是非：オンライン開催については概ね成功

オンライン開催時の運営費について：一部だけ削減でき可能な範囲で還元している

講演の英語対応について：理事会へ差し戻し、次回以降の委員会で再審議

7) 領域2での確認事項と議題

- ・PlasmaMLの運用：添付ファイルは1MB以下。受賞報告可。

不適切なメールは領域2代表の責任下で役員会の了承のもと削除できる

- ・一次審査の審査委員の人数を「3名」から「3名以上」とする。

受賞回数を今回から2回に制限する。

- ・領域2としては、スライドの英語化を推奨する。将来的には概要集も英語推奨に。

- ・コロナ後のオンライン化：領域2としては秋季大会のオンライン化を希望。

- ・招待講演：共著者は提案者になれない。○○Groupや○○Teamに注意。

- ・シンポジウム：原則3.5時間以内、提案書では必ずreferenceを挙げる。

オンライン登壇になる可能性がある講演は明記する。今後広く認めては？

- ・物理学会一般共同研究費(NIFS)：旅費20万円(昨年度全額返納)

オンライン登壇のための環境整備や学生への冊子配布に使えないか。

8) 講演件数の推移

一般講演115件。

秋季大会のオンライン開催は参加者が現地開催よりも多いかもしれない。

引き続き、講演者数増加の対応策を検討していく。

9) 講演概要集提出率

領域2の提出率は96%と非常に高い。

講演者数127(シンポジウム含む)は、領域3~10がひとまとまりであることを考えると、あまり多いとは言えない。

10) その他

- ・懇親会：9月22日(水) 19:30-21:00 (運営会議終了後 Zoom で開催)  
飲食は各自準備。
- ・学生優秀発表賞審査会：9月28日(火) 13:00-

以上